

《瀬戸内海国立公園六甲地域の自然植生》

1. ブナースズタケ群落

生育地の斜面 北面に多い。

生育地の高度 南斜面 750～850m

北斜面 650～750m

生育地の暖かさの指数 80～94℃

構成種 高木 ブナ、イヌブナ、コハウチハカエデ、アカシデ、シタヤカエデ、

ミズナラ、アワブキ

亜高木 アセビ、オオカメノキ、シキミ、ベニドウダン、シラキ、スズタケ

低木 タムシバ、ウンゼンツツジ、コアジサイ

2. ウラジロガシ群落

生育地の斜面 北東面に多い。

生育地の高度 南斜面 350～750m

北斜面 250～650m

生育地の暖かさの指数 90℃

構成種 高木 ウラジロガシ、アラカシ、ツクバネガシ、シラカシ、アカガシ、

モミ、ツガ、タカノツメ、シロダモ、イロハモミジ

亜高木 ヤブニッケイ、ヤブツバキ、アセビ、クロモジ、シキミ、エゴノキ、ヤマボウシ

低木 ヒイラギ、ヒサカキ、イヌツゲ、アオキ

3. シーカナメモチ群落

生育地の斜面 南及び北東面に多い。

生育地の高度 南斜面 100～350m

北斜面 ～250m